

一般財団法人中西奨学会

2026 年度研究助成募集要項

1. 助成の趣旨

経済の急速なグローバル化が進む中で、我が国の製造業が世界市場において強力な競争力を確保し、中長期的な成長基盤を築くためには、より高度な技術を身に付けることが非常に重要となります。このために、当会では、産業科学技術に関する研究への助成事業を通して、我が国における製造業の振興をはかり、もって広く社会の発展に寄与することを目指しています。

2. 応募資格・助成対象

日本国内の大学・研究所等に所属する研究者個人またはグループで、産業科学技術分野のうち、主として下記に関する研究に従事するものであって、先進性・創造性に優れ、かつ、その成果が産業科学技術の進歩・発展に大きく貢献すると思われる研究を対象とします。ただし、助成を受けようとする研究内容につき、他の団体からの助成を受けていないことを条件とします。なお、過去に当会の助成を受けた場合でも再応募は可能です。※ただし、学士、修士、博士課程の学生は対象に含まないものとします。

【研究分野】

※研究区分（基礎・応用・開発）は問いません。

※重視する事項は、選考の際の判断基準とするものであり、応募する研究において必ず考慮しなければならない項目ではありません。

1) 産業用機械に関する分野

工作・輸送・建築などに使用される産業用機械の設計・開発・利用に関する研究。

重視する事項 生産性の向上、高性能化、エネルギーの有効利用、地球環境への配慮などとの関わり。

2) 電子・情報・通信に関する分野

電子・情報・通信に係わるシステムまたは装置の設計・開発・利用に関する研究。

重視する事項 知的生産活動の高機能化・効率化、データの管理・保全の信頼性などとの関わり。

3) 化学系材料に関する分野

無機材料、有機高分子材料、複合材料などの化学系材料の設計・開発・加工・利用・評価に関する研究。

重視する事項 素材としての高機能化・効率化、資源問題の解消（代替材料など）、地球環境への配慮などとの関わり。

4) 物理系材料に関する分野

機械や製品などに使用される金属、半導体、超伝導体、誘電体、機能デバイスなどの物理系材料の設計・開発・加工・利用・評価に関する研究。

重視する事項 デバイスまたは素材としての高機能化・効率化、資源問題の解消（代替材料など）、地球環境への配慮などとの関わり。

5) 住宅に関する分野

住宅の設備・建材または住宅建築に関する、設計、構造、装置、建築技術などの研究。

重視する事項 住環境の維持・保全・管理、省資源・省エネ対策、環境配慮、安全性向上（防災、防犯、

バリアフリー対策など)、リフォーム・リノベーション、災害復興の住宅地形成、関係法制度・社会制度などとの関わり。

6) 地球環境に関する分野

土壤圈、水圏、大気圏などの自然環境に係わる環境技術（エコマテリアル、環境調和型システム、再生可能エネルギーなど）の研究。

重視する事項 持続可能な社会の構築へ向けた脱温暖化、好循環化、生物多様性、自然資源の持続的な保全と利用、化学物質のリスク低減などとの関わり。

3. 助成内容

原則下記の通りとします。

1) 研究対象期間

2026年4月1日～2027年3月31日

2) 給付金額

1件あたり：上限100万円/年

3) 給付時期

2026年4月10日頃

4. 募集内容

下記に基づき募集します。

過去に当会からの助成を受けたことがある場合や、次年度も継続して受給を希望する場合も、年度毎に改めて申請を行っていただく必要があります。

1) 募集期間

2025年11月1日(土)～12月17日(水) ※必着

2) 申請方法

申請書類3点(01_申請書、2_支出計画書、3_研究スケジュール)をホームページ記載のExcelフォーマットより作成し、所属長の推薦書類(様式は任意)を添付して当会宛に郵送もしくはメールで申請ください。(郵送・メールの宛先は本要項末尾に記載。)

メールにて申請の場合、ファイルはパスワードで保護のうえ、パスワードについては別途メールにてご連絡ください。

3) 採用件数

5件程度

4) 選考結果通知

2026年3月初旬までに応募者全員にメールにて通知し、採用者には別途提出必要書類等についてご連絡いたします。

5. 選考方法

当会選考委員会の選考により採用を確定します。

6. 報告義務等

助成を受けた研究内容について、所定の期間内に下記の書類を提出して頂く必要があります。

1) 中間・結果報告書

提出された各報告書については、当会の選考委員会および理事会・評議員会へ配布します。

なお、報告内容によっては、事前に通知したうえで、当会HPにて公開することもありますので予めご了承下さい。

① 中間報告

- ・中間報告書としてA4 レポート5枚程度を作成
※学会等への報告資料をもってこれに代えることも可能
- ・専用フォーム「中間報告書(表紙)」を作成のうえ報告書に添付
- ・研究期間中の11月末までに書面にて提出

② 最終報告

- ・結果報告書としてA4 レポート10枚程度を作成
※学会等への報告資料をもってこれに代えることも可能
- ・専用フォーム「結果報告書(表紙)」を作成のうえ報告書に添付
- ・研究期間終了後2ヶ月以内(翌年度4~5月末まで)に書面にて提出

2) 助成金使途明細書

専用フォームより「助成金使途明細書」を作成し、研究期間終了後2ヶ月以内(翌年度4~5月末まで)に、上記結果報告書に添付のうえ提出をお願いします。

提出された使途明細書については、当会の決算理事会および評議員会へ報告いたします。

7. 他所への公表

助成を受けた研究について、論文等で他所に公表する場合は、当会で助成を受けた旨を明記し、その印刷物または写しを当会宛に郵送頂くようお願いします。

8. 問い合わせ等

本件に関する問い合わせ、申請応募書類の送付先は下記までお願いいたします。

なお、本助成事業においてお預かりした個人情報等については、弊社ホームページ内の「プライバシーポリシー」に準じて取り扱います。

〒530-8566

大阪市北区天満橋3-3-5

中西金属工業株式会社内

一般財団法人中西奨学会事務局宛

TEL : 06-6352-4585 (8:00~16:30 土日祝を除く)

E-mail: shogakukai@nkc-j.co.jp

以上